

274

(1) Bを通り OAに平行な直線の式は $y=2x-14$ で、この直線と x 軸との交点が求めるPだから、この式に $y=0$ を代入すると、 $x=7$ 。 P(7, 0)

(2) Aを通り OBに平行な直線の式は $y=\frac{4}{9}x+\frac{56}{9}$ で、この直線と y 軸との交点が求めるQである。 Q(0, $\frac{56}{9}$)

275

(1) Aを通り OBに平行な直線と x 軸との交点が求めるP点である。 P($\frac{20}{3}$, 0)

(2) Bを通り OAに平行な直線と y 軸との交点が求めるQ点である。 Q(0, 10)

276

順に, D, AC, x , $-x+10$, 0, 10, 10, 0

277

(1) 点Bを通り OAに平行な直線は $y=3x-15$ 。 A. (5, 0)

(2) 点Aを通り OBに平行な直線は $y=\frac{1}{2}x+5$ 。 A. (0, 5)

(3) (2)で求めた直線 $y=\frac{1}{2}x+5$ と x 軸との交点。 $y=0$ を式に代入。 A. (-10, 0)

278

点Dを通り ACに平行な直線は $y=-\frac{5}{3}x+\frac{31}{3}$ 。 A. ($-\frac{31}{5}$, 0)

279

(1) 点Bから右に1, 上に5→点Aだから、点Cを右に1, 上に5 移動した点がDである。 A. (11, 9)

(2) 対角線の交点はAとCの中点だから (4, 5)。原点と(4, 5)を通る直線。 A. $y=\frac{5}{4}x$

280

(1) 対角線の交点は(8, 6)。2点(5, 0)と(8, 6)を通る直線の式を求めるとよい。 A. $y=2x-10$

(2) $AC \perp BD$ で、BDの傾きが1だから、ACの傾きは -1 で、BとDの中点(8, 6)を通る。 A. $y=-x+14$